

令和7年度 南河内地域2町1村未来協議会 議事概要

【日時】令和8年3月27日（金）9：30～10：30

【場所】河南町 4階 大会議室

【出席者】田中太子町長 森田河南町長 菊井千早赤阪村長 城間大阪府総務部市町村局長

■議事概要

●各テーマの検討状況を確認し、今後の方向性について以下のとおり確認・合意した。

- ・令和8年度は、市町村の将来のあり方にかかる調査検討や南河内地域全体を見据えた地域活性化の取組など、より広域での検討が望ましい取組については、南河内基礎自治機能充実強化協議会を中心として実施していく。
- ・広報紙やSNSを活用した情報発信、住民アンケートなど2町1村の住民の理解促進等にかかる取組のほか、人材の確保、公共施設の最適配置、事務の共通化・共同化など、既に検討を開始している取組や2町1村に共通する課題等については、引き続き本協議会において取り組んでいく。
- ・両協議会を通じて、2町1村と南河内地域全体の将来のあり方に関するオープンな議論を引き続き行っていく。

■出席者発言

●府市町村局長：

今年度は羽曳野市、大阪狭山市とともに南河内基礎自治機能充実強化協議会を立ち上げ、より広域的な取組の検討を開始した。町村の共通の課題についてはこれからも2町1村で連携しながら様々な議論を経て成果を出していきたい。

（令和7年度の取組について）

●太子町長：

まずは2町1村でできることをやる、そして将来のあり方について議論するという二本立てで取組を進めてきた。住民アンケートの結果からも、住民の理解度や認知度が上がってきていると感じている。引き続き取組を進め、人口減少社会、高齢化社会について議論しながら周知していきたい。広域の取組については、実績を一つずつ積み上げていきたい。

●河南町長：

職員採用試験の共同実施はバージョンアップを重ね、人材の確保に向けて一定の効果があった。さらなるバージョンアップをしながら、引き続き進めていきたい。専門職の人材確保は非常に難しいが、技術の継承が滞る可能性があるため、次の段階の手立てを検討する必要がある。

●千早赤阪村長：

引き続き様々なレベルでの議論を進めていきたい。村では給食センターの老朽化が大きな課題である。同じく老朽化の課題がある太子町と連携して調査を行い、今後のあり方を検討したい。昨今の物価

高騰の影響もあるため、食材の確保や地産地消の促進についても連携して進めたい。

●府市町村局長：

取組については、住民の理解を得ながら進めていく必要がある。人材の確保は公務運営の安定化のために重要であり、積極的に取り組みたい。給食センターについては、太子町、千早赤阪村において特に老朽化が進んでいるため、来年度以降さらに深掘りし、進めていきたい。その他の公共施設の再配置についても共同で検討したい。

(今後の取組について)

●千早赤阪村長：

金剛バスの廃止を受け、富田林市も含めて4団体でバス路線の確保に取り組んでいる。自動運転バスについては実証実験が遅れるとの発表があったが、この地域で実施できることは意義があると考えている。実証実験の結果を踏まえ、共通の課題や地域間の移動について議論したい。基幹業務システムの標準化についても困難もあるが、できるだけ事務フローを統一できるように今後に向けて進めていきたい。また、住民アンケートは回答数が減少傾向にあるため、PR等の努力が必要である。

●河南町長：

住民アンケートの結果、この地域に住み続けたいと答えた人が8割以上であった。そのために必要なこととして公共交通機関の維持という回答が多かった。できるところは、広域連携を進めていくことが必要。

基幹業務システムの統一については、事務を進める上で自治体間の差が解消され、効率化につながる。一方で、デジタル人材が足りないこと、費用がかかること、多様化する事務への対応等が今後の課題である。より大きな枠組みで共通化を図れば、経費の節減、事務処理負担の軽減の実現が期待できるため、市町村が積極的に参加する必要がある。

●太子町長：

今般、副首都化の話が出ているが、今後基礎自治体のあり方についても話題に上るのではないかと思う。引き続き2町1村で連携を図っていきたい。

●府市町村局長：

住民の移動手段は様々な手法を考えていくべきである。バスに限らず、人口減少等に応じた適切な手法を議論していきたい。基幹業務システムの標準化については、ランニングコストの増加等も問題になっている。国に対して費用の補填等を要望することも考えられる。

副首都法案が国で議論されている。副首都となった場合も、基礎自治機能を維持していくため、市町村と一緒に基礎自治体のあり方を議論していきたい。また、行財政基盤の安定化、持続可能な住民サービスを実施できるよう、あらゆる手段を排除することなく調査・検討していく。

今後も太子町・河南町・千早赤阪村と大阪府で同じ方向を向き、連携して議論を進めていきたい。